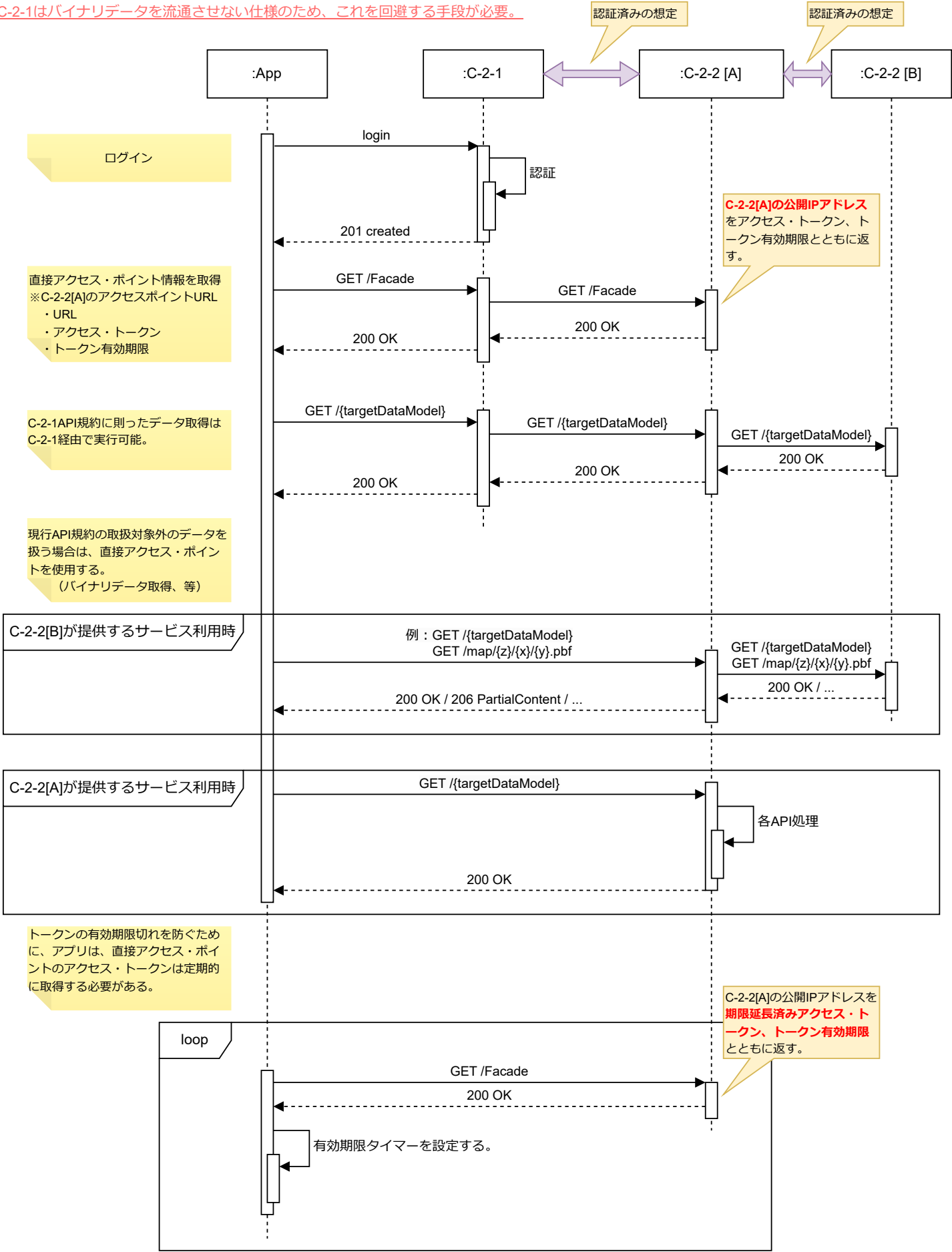
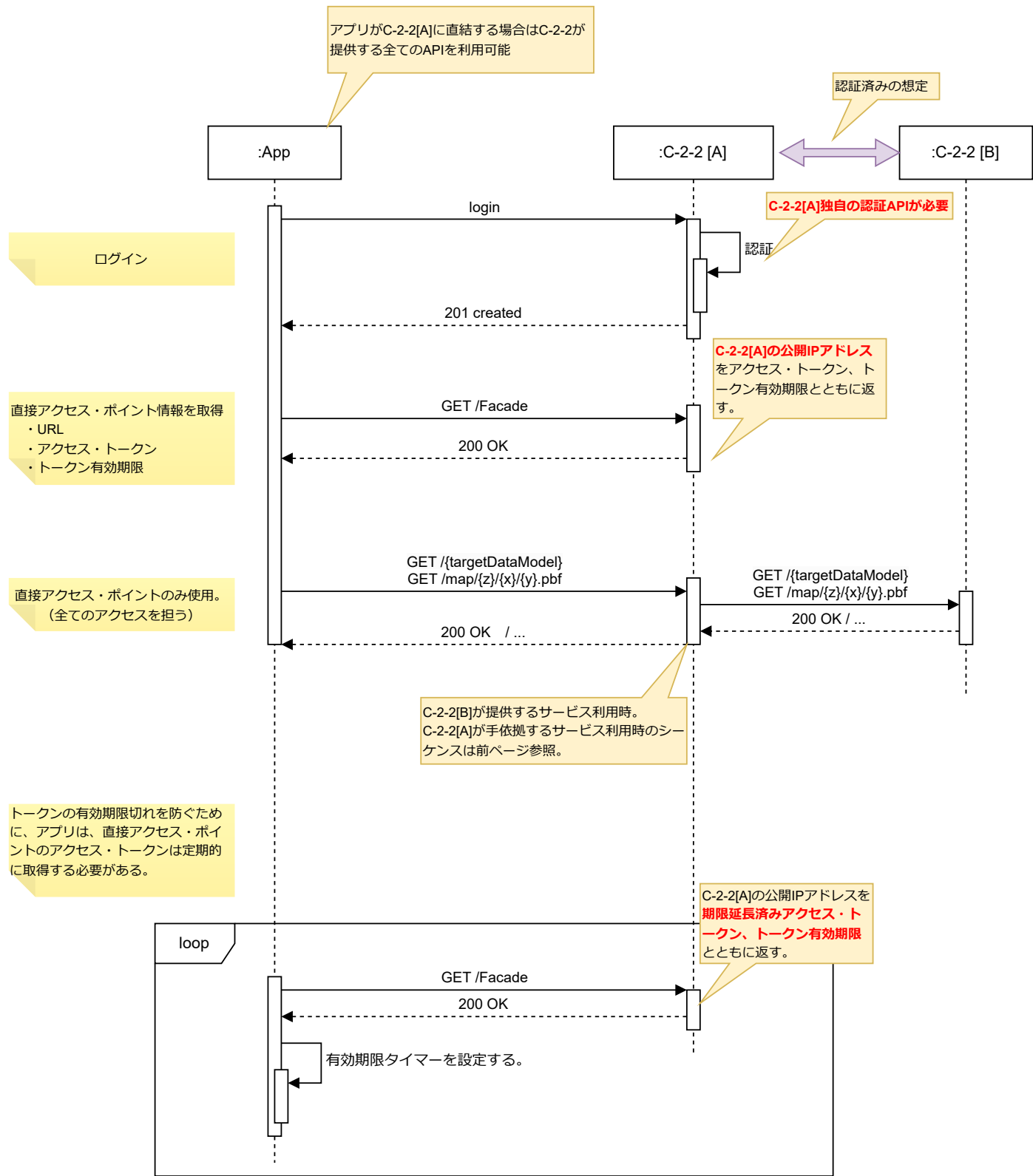


アプリがデータ流通システム(C-2-1)を通じて通信する場合

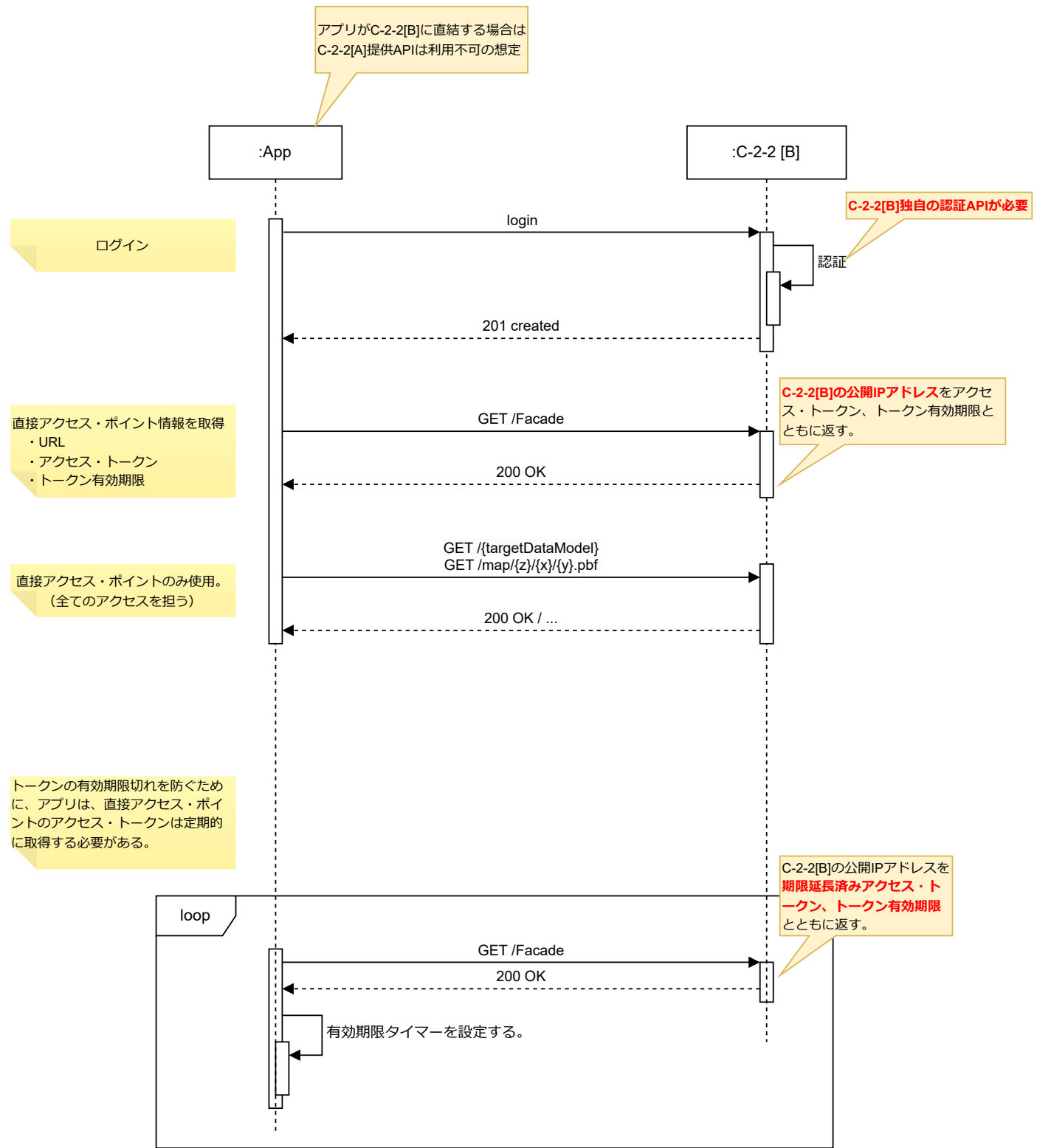
※ C-2-1はバイナリデータを流通させない仕様のため、これを回避する手段が必要。



アプリが車両情報連携システム(C-2-2[A])と直接通信する場合

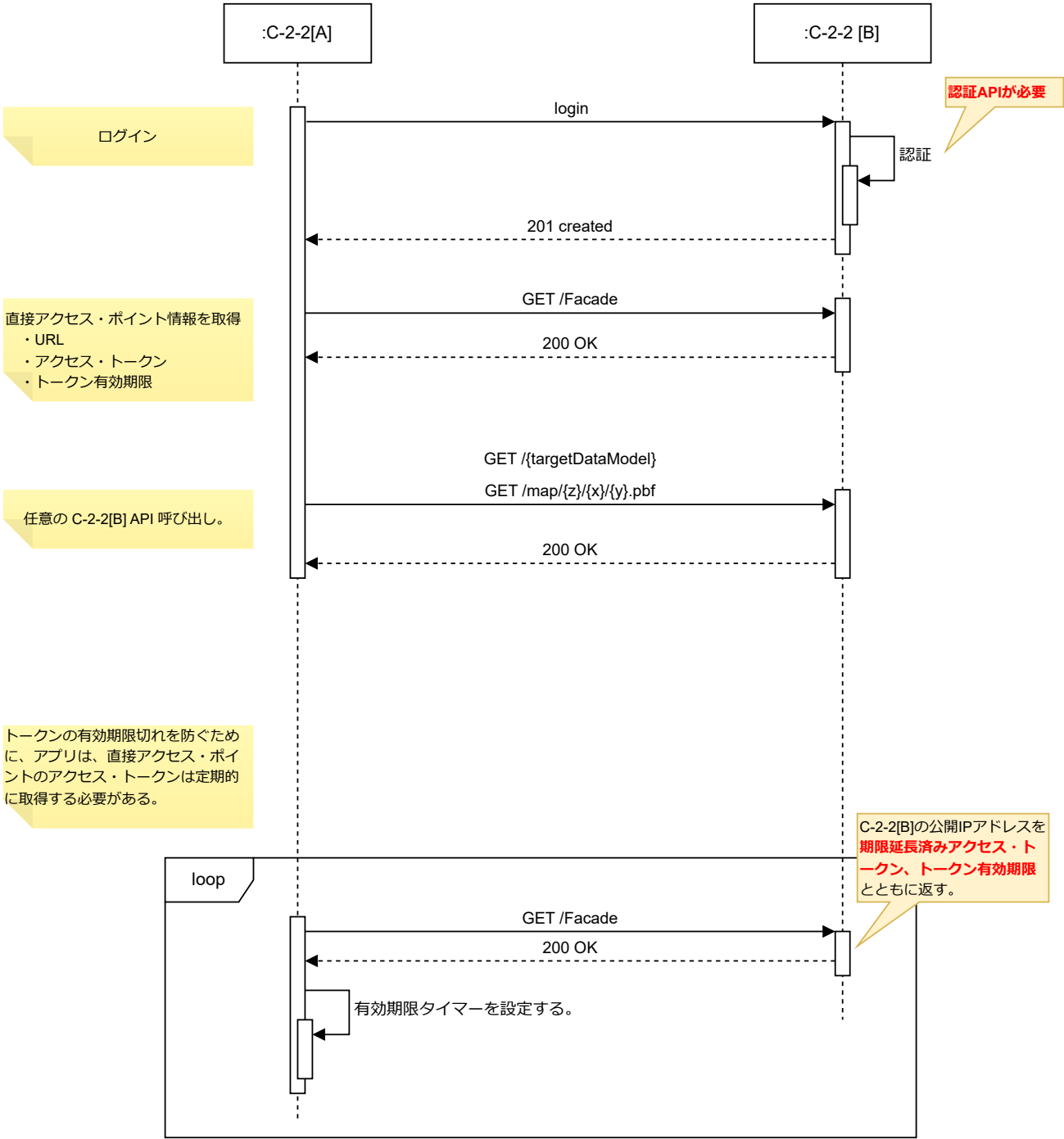


アプリが車両情報連携システム(C-2-2[B])と直接通信する場合

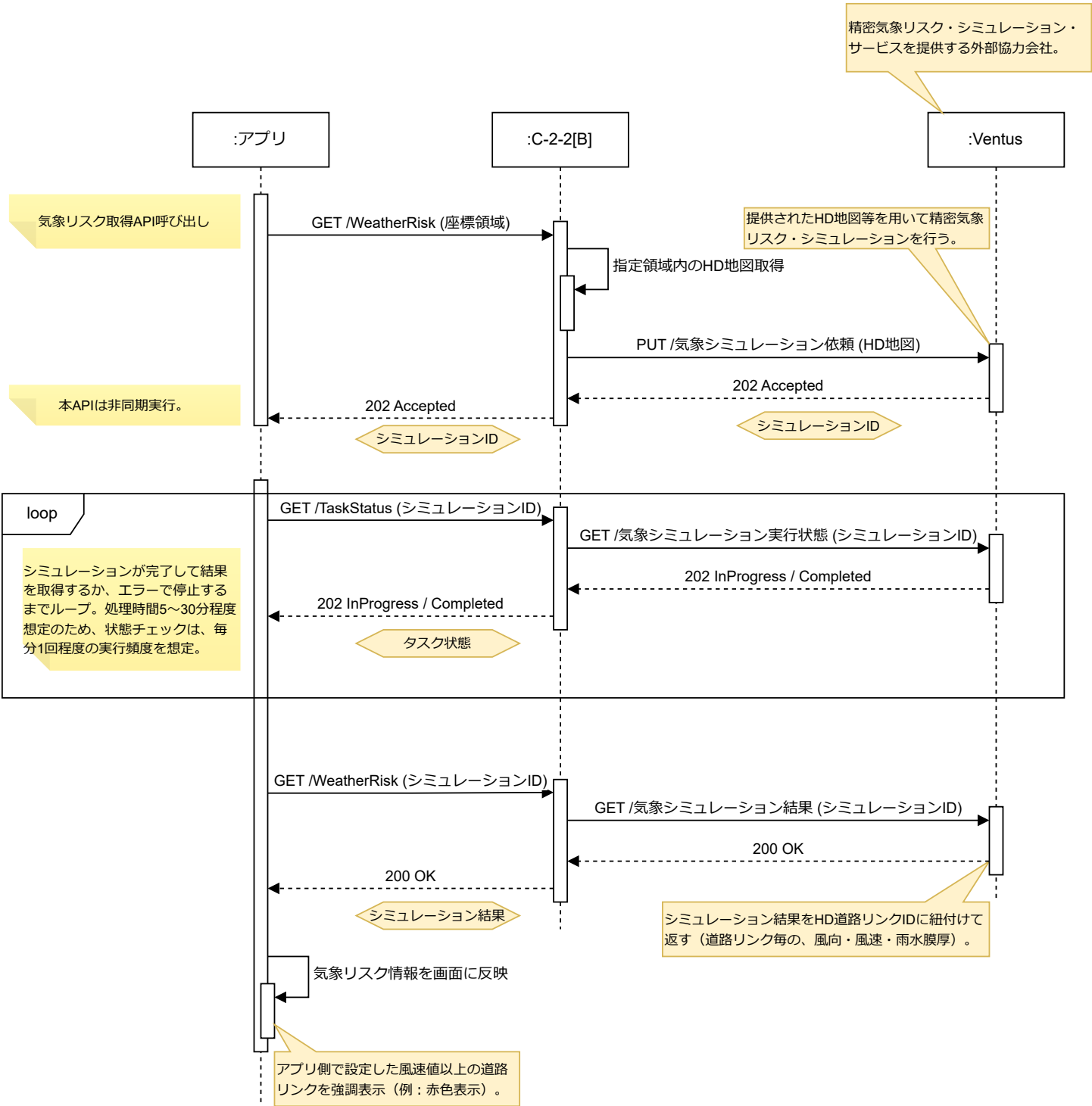


C-2-2 [A]⇔[B] 間認証

[A]⇔[B]間は、相互に相手が特定できているため、特に認証の必要は無い。  
I (P制限などで代替可能) 認証する場合は、下図の通り。



C-2-2[B] API 気象リスク取得



C-2-2[B] API 共有資源状態取得・設定

